

加藤信介研究室

[サステナブル社会の建物内外の空気環境制御]

生産技術研究所 人間・社会系部門

Department of Human and Social Systems

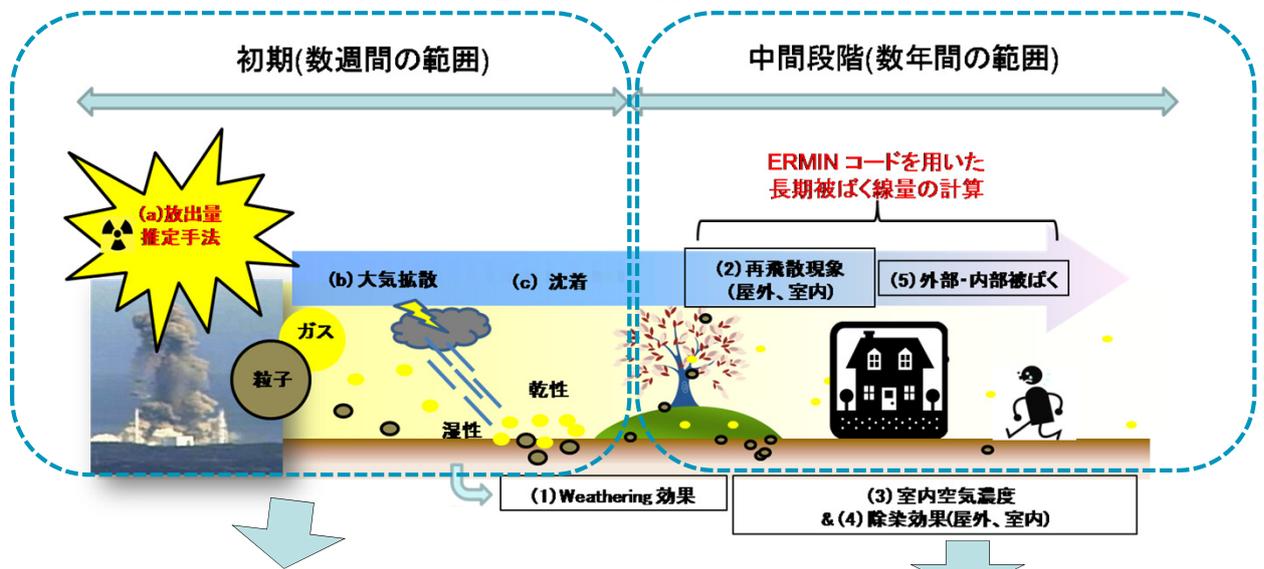
http://venus.iis.u-tokyo.ac.jp

専門分野 建築・都市環境工学

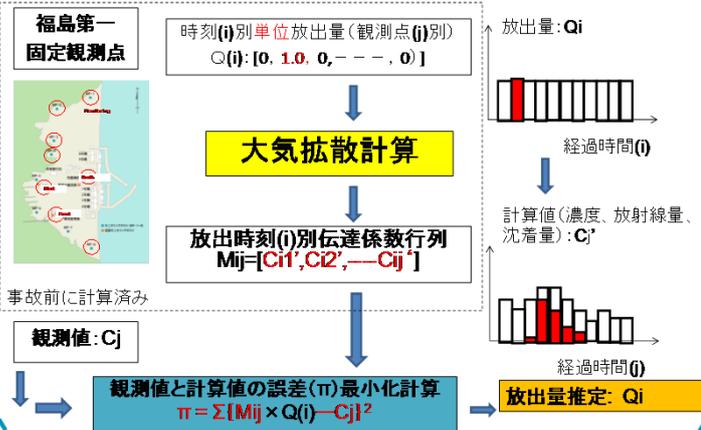
工学系研究科建築学専攻

原子力発電所事故時の放出量及び再飛散量推定手法の高度化に関する研究

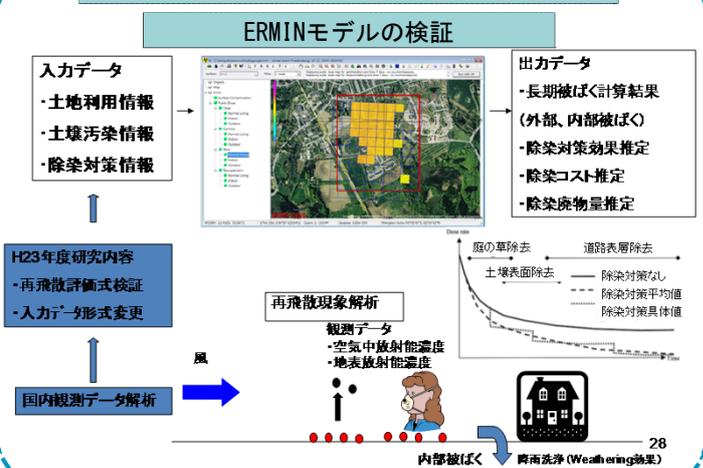
原子力発電所事故の初期及び中期の段階



放出量推定手法の流れ (Source Term Estimation)



長期被ばく線量の推定計算



本研究の目的は、福島第一原子力発電所のような苛酷事故に適用可能な放出量推定手法 (STE) の開発である。大気拡散モデルに基づく新しいSTE法を開発し、その検証を行うため、拡散風洞実験データおよび野外拡散実験データとの検証計算を行っている。

福島第一原子力発電所事故は、広域の大気と土壌の汚染をもたらした。このため、再飛散現象を考慮した長期被ばく線量を推定するために、EUが共同開発したERMIN (EuRopean Model for INhabited areas) モデルを用いて、事故後10年間の長期被ばく線量を推定し、福島地域の観測データとの比較検討を行った。